

漁港は  
魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

# 漁港漁場月報

平成21年11月15日 発行  
毎月 1回15日発行  
編集兼発行人 全国漁港漁場協会  
濱田 研一  
東京都港区赤坂1-9-13三益ビル8階  
電話 東京(5114)9981  
定価 1部 70円  
(会員の購読料は会費の中に含む)

## 第61回全国漁港漁場大会

### 全国から1300人が参加

# 水産環境整備の推進などを採択



盛大に開催された第61回全国漁港漁場大会

第61回全国漁港漁場大会(主催)全国漁港漁場協会、後援)東京都、東京都漁業協同組合連合会、東京都漁港漁場協会、協賛)全国漁港海岸防災協会)が、10月15日秋晴れの、昨年に続き東京都港区のメルパルクホールにおいて、筒井信隆衆議院農林水産委員長、平野達男参議院農林水産委員長、白須敏朗(大)日本水産会会長、服部郁弘(大)全国豊かな海づくり推進協会会長、沈好穎(特)特殊法人韓国漁村漁港協会会長をはじめ多くの来賓と全国から漁港漁場関係者約1300人の参加を得て盛大に開催された。

なか市長)が提案理由を説明、続いて五十嵐安哉(山形県漁港漁場協会副会長)が意見発表を行い、議決を行い、議決案は満場一致で議決された。

道庁県漁港漁場協会会長、全国漁業協同組合連合会会長の連名による要請書を作成し、大会終了後財務省等の政府及び各都道府県の地元選出国会議員に要請して要望事項の実現に努めることとして会場での賛同を得、議事を終了した。

続いて、次回大会の開

今大会では、漁港、漁場整備長期計画の着実な推進と社会資本整備重点計画(海岸事業)の着実な推進、関係諸施策の積極的な展開が図られるよう、全国の漁港漁場関係者の総意をもって政府、国会等に対する要望を採択し、その実現のため要請行動を行うことを決めた。

われわれ水産関係者は、水産業・漁村が、水産物の供給をはじめ、地域社会・経済の発展、生命・財産の保全、自然環境の保全やレクリエーションの場の提供など、重要な役割を担っており、国の発展の基盤として不可欠な存在であると認識し、健全な水産業・漁村を維持するため日々努力を続けている。しかし、水産資源の多くなり低水準にとどまり、水産物価格は低迷が続ぎ、加えて燃油価格の大幅な変動、世界的な経済の停滞により、我が国の水産業・漁村は、まさに危機的状況にある。

産委員長が、次に平野達男参議院農林水産委員長が祝辞を述べた。続いて、白須敏朗(大)日本水産会会長、服部郁弘(大)全国豊かな海づくり推進協会会長がそれぞれ祝辞を述べた。祝辞の後、司会者が遠来の来賓で第40回大会から歴代の会長が大会に出席している特殊法人韓国漁村漁港協会の沈好穎会長を紹介し、その他にも多数の来賓が出席していることを紹介した。

このような中で、国民に安全で良質な水産物を提供し続けることができる活力ある水産業・漁村を確立するためには、漁業生産の増加と魚価の回復、流通の改善、生活環境の整備などに資する総合的な対策が必要である。また、近い将来発生が懸念される東海・東南海・南海地震などに備えるとともに、大型化している台風や高潮等に対応した防災・減災対策を早急に強化する必要がある。



議長野村興児氏(左)と副議長の上原裕常氏

採択された要請案をもとに、本間源基次(城島漁港協会会長)の挨拶をもち、各都道府県の代表者による要請書が読み上げられた。続いて、関係諸施策の積極的な展開が図られるよう、全国の漁港漁場関係者の総意をもって、政府並びに国会等に対し、左記の事項の実現と自らの努力への支援を強く要請する。



記

よって、われわれは、引き続き国民の理解を得ながら、漁港漁場整備長期計画並びに社会資本整備重点計画(海岸事業)に基づき、関係諸施策の積極的な展開が図られるよう、全国の漁港漁場関係者の総意をもって、政府並びに国会等に対し、左記の事項の実現と自らの努力への支援を強く要請する。

- 一、水産資源の回復と漁場生産力の向上を促進する水産環境整備の推進
- 一、生産・流通機能の向上と産地販売力の強化に資する漁港漁場整備の推進
- 一、地域の魅力を高め、海業を支援する総合的な漁村活性化対策の推進
- 一、地震津波や高潮等に対する漁港漁村、海岸の防災・減災対策の強化

平成二十一年十月十五日  
第六十二回全国漁港漁場大会

主催者挨拶

(社)全国漁港漁場協会会長 田中潤兒



我が国の水産業、漁村は、

将来に希望が持てる 豊かな漁村を実現

第61回全国漁港漁場大会の開会にあたり、ご挨拶申し上げます。全国から多数の漁業関係者のご参加を頂き、心より感謝申し上げます。特に、公務が多忙のなか、筒井信隆参議院農林水産委員長、平野達男参議院農林水産委員長、水産関係団体から白須敏朗前大日本水産協会会長、服部部弘前全国豊かな海づくり推進協会会長、そして沈好鎮特殊法人韓国漁村漁港協会会長はじめ多くの来賓のご臨席を賜り、盛大に大会を開催出来たことは、主催者として致しまして誠に光栄に存じております。

格の高騰、金融危機に端を発した世界同時不況による地域の経済や雇用情勢の急速な悪化等により一段と厳しい状況が続いております。また、地震・津波による大規模災害の発生が懸念され

ており、自然災害に対して脆い漁村地域の防災、危機管理対策も重要な課題となっております。日本の豊かな海の環境を守り食料の安定供給を確保するためには、我々関係者が一致団結してこのような状況を克服しなければなりません。特に、国民のニーズに応える水産業、漁村の健全な発展のためには、水産資源の回復・管理の推進、漁業経営対策などとともに、沿岸域の環境の保全、沖合漁場や藻場・干潟の造成など水産生物のための良好な生息空間づくり、品質・衛生管理対策など生産流通視点の改善強化、そして社会生活基盤の充実、防災対策の推進などによる安全で快適な漁村づくりを着実に進めていくとともに、これらの重要性について国民の皆さんに訴えて理解を得ることが大事であります。



格の高騰、金融危機に端を発した世界同時不況による地域の経済や雇用情勢の急速な悪化等により一段と厳しい状況が続いております。また、地震・津波による大規模災害の発生が懸念され

祝辞



第61回全国漁港漁場大会、盛大なる開催おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。そして皆さんが日頃から漁港漁場の整備、漁村整備振興のために尽力されていることに敬意を表します。また、参議院農林水産委員会を代表して心から感謝を申し上げます。

祝辞



本日ここに、第61回全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、参議院農林水産委員会を代表して一言ご挨拶申し上げます。冒頭、先の台風18号で被災された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

新たな政策で水産業を振興

衆議院農林水産委員長 筒井信隆

我が国の水産業は、まさに国民に欠かすこと出来ない食料を供給している。この働きだけではなく、国土保全、環境監視、レクリエーションの場の提供という多面的機能を、国民に対して無償で果たしている。この多面的機能の経済的価値は、日本学術会議の試算により年間で10兆円にのぼる莫大なものであります。しかし、そういう仕事をしている中、今、水産業も漁村も、また水産資源の状況も大変厳しい状況にあります。これらを抜本的

漁村への政策支援を充実

参議院農林水産委員長 平野達男

す、新興国を中心とする魚食の拡大により、マグロ等の水産資源の枯渇が強く懸念され、欧米では漁獲規制の強化を求める声が増しに高まっております。我が国は、全国津々浦々において、多様な魚介類に直していかねばならない。水産業も漁村も整備をしながら、安心して食料を供給していかねばならない。私たちは水産業について、個別TAC制度を前提とした所得補償制度を、また個別TACが設定できないところでは資源管理計画を提出することを前提とした所得補償制度を、少なくとも1,000億円程度から始めるべきである。このことによって、漁業の振興と水産資源のきちんとした

# 水産業の根底支える漁港漁場

## (社)大日本水産会会長 白須敏朗

### 祝辞

本日は、第61回全国漁港漁場大会の開催、まことにありがとうございます。全国の水産関係者を代表いたしましてお喜びを申し上げます。

本日は、第61回全国漁港漁場大会の開催、まことにありがとうございます。全国の水産関係者を代表いたしましてお喜びを申し上げます。



本日は、第61回全国漁港漁場大会の開催、まことにありがとうございます。全国の水産関係者を代表いたしましてお喜びを申し上げます。

只今、衆・参両院の農林水産委員長からお話いただきました。水産業を取り巻く状況には大変厳しいものがあると思います。一昨年来皆様方が大変ご苦労されている燃料価格の問題につきましても、一時の高騰は脱しましたが依然として高止まりの状況にあります。燃料を中心としたコスト高は、経営を大変圧迫

しているところであります。また、水産資源につきましても、かつては世界一の水産国日本というので、1200万トンを超える漁獲高があった訳でございますが、現在の半分ぐらいに落ち込んでおり、なかなか資源が回復していかないという状況にあります。加えて、昨年秋以来の100年に一度といわれる世界的な不況の影響をもたえ、水産物の需要が大幅に落ち込んでおります。スーパー等もそうです。世の中は安売り競争となっております。魚の価格も大幅に低迷し、本当に水産関係者は苦

しいところがございます。しかしながら、お集まりの皆様が携わっておられる水産業の使命というのは、国民、消費者に対する水産物の安定的な供給ということですので、そういう苦しい中でも皆一生懸命に努力しております。これが水産業の根底の所を支えています。それから、お集まりの漁港漁場の関係の皆様がおります。皆様方の努力があったら、国民に対する水産物の安定供給がし得る訳でございます。日頃の皆様ののご努力に対して心より厚く御礼申し上げ、敬意を表させていただきます。

また、水産業が成り立っている基盤である漁村の活性化という面におきましても、漁港漁場の役割には大変大きなものがあります。さらに、消費者に安全安心な水産物を提供する上で、漁港がきちんと衛生的に整備されている必要がありますので、漁港漁場の整備の持つ意味は大きいものがあると考えております。このことにも魚離れということで、私も大変苦勞しております。しかしながら、我が国日本には1億2千万人を超える人口があり、大変大きなマーケットがあります。しかも、世界中で魚を食べ始めてきている状況でございます。中国の「爆食」という話もございまして、或いはロシア、ヨーロッパ、アメリカでもどんどん魚を食べ始めています。魚が健康食品であるという地位は、国際的に定着してきております。従いまして、水産物に対する需要

及ぶ漁村の実態に即した実効ある政策が一刻も早く確立されるよう要望して参りたいと考えております。

こうした中、水産業界は、漁業資源の持続的な利用を図るため、資源管理を行い、国民への食料の安定供給や環境保全など、漁業及び漁村の有する多面的機能の発揮において重要な役割を担っております。

漁業・漁村の繁栄をはかり、幅広い事業の展開もまた、重要な存在であることは、漁村社会において、無くてはならない重要な位置づけとなっております。また、資源の回復・増大を図るため漁場干潟の造成、有用魚種の種苗の放流

# 実効ある政策の早急な確立を

## (社)全国豊かな海づくり推進協会会長 服部郁弘

### 祝辞

本日に、第61回全国漁港漁場大会が開催される。



本日に、第61回全国漁港漁場大会が開催される。

に当たり、社団法人全国豊かな海づくり推進協会を代表して、

我が国の漁業者は、安全・安心で新鮮な水産物を国民の皆様へ供給するために、日夜努力を続けているところであります。

しかしながら、周辺海域での資源の減少や魚価安に加え、燃油価格の高止まりの状況や担い手の減少等により、漁業経営は以前にも増して厳しい環境を余儀なくされておられ、漁村の中核的地位も危惧される状況にあります。

私もといたしましては、今後、衆・参の農林水産委員会の先方に対し、水産業の置かれている厳しい状況を理解していただくよう努め、漁業者及びJDFグループの声をもち、漁業

を行うことや、魚市場の衛生面での機能の向上、老朽化した種苗生産施設や漁港諸施設の維持に向けた補修、整備の取り組みは、今後ともますます重要となってきます。

わが協会も、栽培漁業の推進を核として、磯焼け対策や漁場造成手法の開発などの事業を通じ、全国の沿岸都道府県との連携を強化し、諸事業への支援を行うなど、今後とも、漁業振興に貢献してまいります。

最後になりますが、明日の漁業の発展のため、全国漁港漁場協会と共に、諸事業を推進していく所存であることを表明し、お祝の言葉といたします。

# 大会に出席した来賓

(敬称略)



- 衆議院農林水産委員長・筒井信隆、参議院農林水産委員長・平野達男、衆議院調査局農林水産調査室長・板垣芳男、同室調査員・安部幸也、同・千葉商工大学農学部長・藤田純一、議員公室調査室長・鈴木俊一、参議院農林水産委員長・白須敏朗

- ・鈴木朝雄、特殊法人韓国漁村漁港協会、同協会企画経営本部長・李雄起、同協会代理・李珍豪、東京港湾局、離島港湾部計画課長・小林英樹、同課計画係長・志村勝美、東京都産業労働局農林水産部水産課課長補佐・水阪彰

- ・白須敏朗、(社)全国豊かな海づくり推進協会会長・服部郁弘、(財)漁船航海難避教育英会理事長・鈴木俊一、同協会専務理事・佐藤信彦、(社)海洋水産システム協会会長・藤田純一、漁船保険中央会会長・上野新作、全国漁協女性部連絡協議会会長・宇都野浩、全国漁協水産資源保護協会専務理事・下村雄海、海洋技術センター理事長・鹿田正一、全日本漁建設協会名誉会長・坂井益勝、全日本漁建建設協会会長・大島登、漁港漁場新技術研究会会長・坂井淳、漁村水環境研究会会長・山田康夫



水産専門紙では大会の特集を掲載

筒井委員長ほか来賓の皆様

大勢の参加者が会場を埋めた

# 総合的対策で活力ある水産業・漁村に

## 茨城県漁港協会会長 本間 源基

### 提案理由説明

茨城県漁港協会会長  
で、ひたなか市長の本  
問源基でございます。  
はじめに、水産業の振  
興と漁港・漁場・漁村及  
び海岸の整備にご尽力い  
ただいて、関係者の  
方々をはじめ、関係者の  
皆様にあらためて敬意と  
感謝の意を表します。



提案理由の  
説明に先立  
ち、若早、茨  
城県の水産業  
の現状につ  
てふれたいと  
存じます。  
茨城県は、  
太平洋に面し  
た約190k

mの弓状の海岸線を持  
し、中央部を境に、北部  
は岩磯域、南部は砂浜域  
となっております。

沖合は、親潮と黒潮が  
交錯し、イワシ、サバ、  
サンマ、カツオ、シラス  
等、寒流・暖流双方の魚  
類の来遊する好漁場とな  
っており、沿岸は岩磯域  
のズズキ、アワビ、砂浜  
域のヒラメやカレイ類、  
鹿島灘ハマグリ等多種類  
の魚介類に恵まれており  
ます。

漁業は、海面では、大  
中型まき網漁業を中心  
に、小型底びき網、船ひ  
き網、刺網、つり、採貝  
・採藻等の漁業が営まれ

震ヶ浦・北浦や潮沼、利  
根川、那珂川、久慈川等  
の内水面でもリカサキ、  
シラウオ、エビ、アユ、  
シジミ等の漁業が行われ  
ております。

# 国と地方が密接な連携を

## 山形県漁港漁場協会副会長 五十嵐安哉

### 意見発表



山形県漁  
港漁場協会  
副会長で、  
山形県漁業  
協同組合代  
表理事組合  
長の五十嵐  
安哉でござ  
います。  
先程、こ

提案のありました議案  
につきまして、山形県  
の水産業・漁村の実情  
を申し上げながら、意  
見を発表させていただきます。

山形県では、日本海  
に面した庄内浜と呼ぶ  
海岸地帯と飛鳥の15の  
漁港を拠点として、底  
びき網、イカ釣り、定  
置網、延縄、刺し網など  
の漁業が営まれてお  
ります。

漁業生産量は、全国

の中で少ない方であ  
りますが、上層の対馬  
暖流と下層の冷水が、  
季節により変化し混じ  
り合う海域の特性から、  
タイ、ブリ、ヒラメ、  
イカ類、サクラマサ、  
タラ、スワイカニなど  
実に130種類を超える  
魚介類が水揚げされ  
ています。これらの魚  
介類は、鮮魚及び水産  
加工品として、県内外に  
出荷され、国民の皆さ  
んの食卓を豊かにして  
いるところであります。

山形県においても、  
水産業は重要な地域産  
業であります。地域産  
安でありますが、魚価  
下がっている一方で、昨年  
の暴騰後ある程度下が  
った燃油価格も最近ほ  
再上昇傾向にあり、経  
費が高んで、漁業はは  
じめとする水産業の経  
営は本当に大変な状態  
であります。

こうしたことから経  
営体の減少、就業者の  
減少・高齢化が進んで  
おりますが、われわれ  
水産関係者には、国民  
に安全で美味しい水産  
物を提供し続けていく  
という使命があります。  
この使命を果たすに  
は、海の環境を改善し  
て水産資源を回復する  
ことによつて漁業生産  
を増加させ、魚価の回  
復を図り、さらに水産  
物の流通の改善や漁村  
の生活環境の整備など  
を提供し続けていくこと  
の必要がある水産業・  
漁村を確立するためには、  
水産資源の回復と漁  
業生産の増加、魚価の回  
復、流通の改善、生活環  
境の整備などを進めるた  
めの総合的対策が必要  
であります。

また、近い将来にも日  
本列島周辺で発生すると  
いわれる北海道・東北地  
方の海溝型地震や東海・  
東南海・南海地震の津波  
や、強大化する台風によ  
る高波・高潮などの災害  
に備え、これらに対応し  
た防災・減災対策を早急  
に強化する必要があります。  
このため、漁港漁場整  
備長期計画と海岸事業に  
係る社会資本整備重点計  
画に基づいて関係諸施策  
の積極的な展開を図ら  
れ、

また、日本海沿岸の  
各県は、これまでにも  
大きな地震・津波の被  
害を受けており、近年  
は台風や冬の低気圧  
により、これまでにない  
高波が発生しており  
ます。さらには、近い  
将来発生が懸念されて  
いる地震による津波等  
にも備え、漁村地域住  
民の生命と暮らしを守る  
ため、海岸整備など災  
害対策を積極的に進め  
住民が安心して暮らせ  
るに力をつくることが重  
要と考えます。

水産業・漁村が、国  
民生活や地域社会に果  
たしている様々な役割  
を考えたときに、水産  
業並びに漁村の振興・  
発展を図ることなくし  
て、国民が望んでいる  
豊かな日本は実現しな  
いと思えます。

そのためには、国と  
地方とが密接に連携し  
て、厳しい財政事情で  
あっても予算を確保し  
必要な漁港漁場などの  
水産基盤や海岸の整備、  
漁村の活性化に関する  
総合的な施策を、我々  
水産関係者の意見を聞  
きながら実施すべきで  
あると考えます。もち  
ろん、これまで同様わ

れわれ自らが努力する  
ことは言うまでもあり  
ません。  
提案された事項は、  
水産基本法及び漁港漁  
場整備法に則ったもの  
であり、また、わが国  
の水産業・漁村が直面  
している諸課題に対応  
するため、ぜひとも強  
力に推進すべきもので  
あります。

満場一致のご賛同を  
いただき、水産業・漁  
村を活性化させ、豊か  
で魅力的な水産業・漁  
村の実現に向け、われ  
われ水産関係者が総力  
を挙げ取り組むこと  
を呼びかけておきたい  
ですし、私の意見発表と  
いたします。

また、世界遺産に登  
録された琉球王国時代  
の首里城をはじめとす  
る城(すく)群と、  
その関連遺産も県内各  
地にあります。更に、  
世界一の水族館のある  
海洋博公園をはじめと  
し、たくさん観光施設  
や珊瑚礁に囲まれた  
コバルト・ブルーの美  
しい海があります。

また、全国からたく  
さんの会員の皆様  
がご参加いただき  
ますようお願いいた  
します。ぜひ、私  
の歓迎のご挨拶と  
致します。  
よろしくお願  
いいたします。

来年開催される第62  
回全国漁港漁場大会  
が、沖縄県で開催され  
ることになりました。  
沖縄県の全国漁港漁  
場大会は、約30年前の  
昭和55年以来2回目の  
開催になります。

## 次回大会開催県協会長挨拶

(社)沖縄県漁港漁場協会会長理事 上原 裕常

## 30年ぶりの大会開催で沖縄をPR

できる絶好の機会と考  
えており、心から歓迎  
申し上げます。  
さて沖縄県は、東西  
1000キロメートル、  
南北400キロメ  
ートルの広大な海域に  
点在する大小103の  
島々からなっており、  
海水温は冬でも常に  
20℃以上あり、我が国  
唯一の熱帯性海域を活  
かしたモスクを始め、  
クルマエビ養殖、マグ  
ロ類、ソデイカ漁業な  
どが盛んであり、近年  
は海苔どうの養殖も行  
われております。ぜひ  
大会の機会に、沖縄県  
の水産物を堪能してい  
ただければと考えてい  
ます。

来年開催される第62  
回全国漁港漁場大会  
が、沖縄県で開催され  
ることになりました。  
沖縄県の全国漁港漁  
場大会は、約30年前の  
昭和55年以来2回目の  
開催になります。



特選1席

農林水産大臣賞



入賞作品決定

(社)全国漁港漁場協会と  
全国漁港海岸防災協会の  
共催、(財)漁港漁場漁村技  
術研究所と(財)水産土木建  
設技術センターの協賛、  
水産庁後援による200  
9漁港漁場漁村海岸写真  
コンクールの入賞作品  
が、第61回全国漁港漁場  
大会の場で発表された。  
同コンクールの作品審  
査は9月4日に行われて  
いたが、農林水産大臣賞  
と水産庁長官賞の交付手  
続き等を済ませて最終的  
に決定し、入賞作品がパ  
ンフレットにまとめられ  
て大会参加者に配布され  
た。

入賞作品は、特選1席  
(農林水産大臣賞)1点、  
特選2席(水産庁長官賞)  
1点、特選3席(全国漁  
港漁場協会会長賞、全国  
漁港海岸防災協会会長  
賞、漁港漁場漁村技術研  
究所理事長賞、水産土木  
建設技術センター理事長  
賞)各1点、入選5点、  
佳作10点で、入賞者は別  
表の通り。

なお、入賞作品は全国  
漁港漁場協会のホームペ  
ージに掲載しています。

2009漁港漁場漁村海岸写真コンクール

2009漁港漁場漁村海岸写真コンクールの入賞者

入賞	題名	氏名
特選1席	溜り抄い	内田 国男 (静岡県賀茂郡)
特選2席	早朝の漁港 [組写真]	鈴木 修吉郎 (神奈川県鎌倉市)
特選3席	漁港の賑わい	武田 敏久 (青森県八戸市)
特選3席	直江兼続只今参上	太田 誠二 (新潟県新潟市)
特選3席	作業	佐藤 正治 (青森県青森市)
特選3席	ウミネコ群舞	カマタニ ヒサト (岩手県下閉伊郡)
入選	浜下り(バカリ)	保科 幸裕 (埼玉県上尾市)
入選	寒風の白魚漁	宮原 靖 (岡山県倉敷市)
入選	無邪気	山内 繁男 (埼玉県越谷市)
入選	汐ふみ	藤本 京子 (千葉県千葉市)
入選	デピラ干し	乗松 賢二 (愛媛県松山市)
佳作	漁港見学	小栗山 秀男 (千葉県山武郡)
佳作	荒天の出漁	三浦 務 (千葉県八街市)
佳作	大漁に力湧いて	佐藤 美栄子 (静岡県静岡市)
佳作	寒稽古	横山 昭人 (香川県観音寺市)
佳作	お昼どき	西田 叔弘 (滋賀県大津市)
佳作	マイ・ウェイ	渡邊 伸一 (兵庫県神戸市)
佳作	荒波に挑む	牧原 昭文 (鳥取県倉吉市)
佳作	海を渡る御神輿	広田 和夫 (山口県宇部市)
佳作	いりこ干し	松本 健太郎 (愛媛県新居浜市)
佳作	渚の結婚式	川名 舞 (千葉県鴨川市)

特選2席

水産庁長官賞



特選3席

全国漁港漁場協会会長賞



水産土木建設技術センター理事長賞



漁港漁場漁村技術研究所理事長賞



全国漁港海岸防災協会会長賞



# 大会要望事項の実現に向け要望



橋本部長に要望書を手渡す田畑誠一鹿児島県漁港漁場協会会長ら代表者



奥原漁政部長にも要望書を手渡した

第61回全国漁港漁場大会の参加者は、大会終了後、午後3時15分頃から会場内の会議室で、田村務理事による要請行動にたいしての説明を受けた。

要請は、関係省庁への要請を行う「合同要請」として、関係省庁を中心に5班(編制)と都道府県漁港漁場協会が地元選出国会議員に対して要請を行う「個別要請」に分かれて実施した。

要請を受けた橋本部長は、「全国の漁港・漁場は、漁村の整備や漁村の活性化のため努力を訴えた。」と述べた。また、奥原漁政部長にも要望書を手渡した。奥原部長は、「全国漁港漁場協会の役割が大きい」と述べた。

## 22年度水産予算概算要求を再提出

水産庁

政権交代により赤松農林水産大臣の下で見直しが行われた国の平成22年度農林水産予算の概算要求が、10月15日に財務省に再提出された。農林水産予算の総額は2兆4071億円で、前年度比94%

このうち、公共事業費が845.9億円で前年度比85%と大幅な減額要求となり、非公共事業費が1兆561.2億円で、前年度比99.7%の要求となっている。このほか、別に農家の個別所得補償制度モデル事業の予算として、344.7億円を要求している。

Table with 4 columns: Item, 2021 Budget Request (100 million yen), 2022 Budget Request (100 million yen), and % Change. Rows include General Accounting, Non-public, Public, Aquaculture, Coastal Fisheries, and Disaster Relief.

平成22年度水産予算概算要求・要望の概要

Table with 2 columns: Item and 2022 Budget Request (100 million yen). Rows include Aquaculture Stock Management, Offshore Aquaculture, Aquaculture Promotion, Aquaculture Infrastructure, Aquaculture Promotion, and Aquaculture Promotion.

要請書の要旨は、次のとおり。①漁港漁場整備長期計画(海洋資源)の着実に推進に関する要望書。②水産資源の回復と漁場生産力の向上を促進する水産環境整備の推進。③水産流通機能の向上と産地販売力の強化に資する漁港漁場整備の推進。④地域の魅力を高め、海産物を支える総合的な漁村活性化対策の推進。⑤地震津波や高潮等に対する漁港漁村、海岸の防災・減災対策の強化。⑥合同要請の班別要請先、編成等は次のとおり(敬称略)。

水産技術交流プラザセミナー開催 漁港機能維持改善テーマに 同開発などを図ることで総合的な漁港漁村づくりの貢献することを目的としたもの。

研究について紹介した。続いて、三上信雄地域基礎研究チーム長が、「漁港施設等のアセットマネジメント」として、アセットマネジメントの適用による漁港の効率的維持管理のポイントや、アセットマネジメント導入における課題と対策を踏まえた今後の展開方等について説明した。

お知らせ 水産工学関係研究会 開発推進特別部会 水産基盤分科会 11月30日と12月8日に

# 第29回全国豊かな海づくり大会開催

## 東京海洋大学品川キャンパスで



盛大に開催された第29回全国豊かな海づくり大会・中央大会

第29回全国豊かな海づくり大会・中央大会（主催）が、東京海洋大学品川キャンパスで開かれ、後援は農林水産省・環境省が、10月31日開催された。

今日大会は、豊かな海づくり推進委員会が単独で開催する初めての大会であり、同委員会では、これまでの大会を振り返るとともに大会の意義を再確認し、今後の新たな展望を期す「中央大会」と位置付けた。また、今年が天皇陛下の即位20年と天皇皇后ご成婚50年の年に当たることから、心からのお祝いの気持ちを込めた大会にしたとしている。

再確認し、決意を新たに水産資源の回復や海の再生に努力していくことを決意した。式典は、櫻庭武弘JF全漁連代表理事副会長が開会の言葉で開始され、横路孝弘大会会長（衆議院議長）が挨拶、松山隆治東京海洋大学学長が歓迎挨拶を述べた。

手を受けた。続いて大会決議の採択に移り、服部弘豊かな海づくり推進委員会会長が大会決議文を読み上げ、満場の拍手でこれを採択した。

## 「漁港検診」を実施

### 岩手県漁港漁村協会



岩手県漁港漁村協会関係者による「漁港検診」の様子

（岩手県漁港漁村協会）は、10月27日～29日の3日間、「漁港検診」を実施した。この漁港検診は、鈴木会長が県下の漁港、漁場及び漁村整備等を行うための現地を訪問し、市町村長、漁協組合長及び地区

関係者など多くの関係者の参加の下で、県、市町村の担当官からの事業内容、課題等の説明の後、意見交換、要請の聴取等を行うものである。今回の検診は、地域水産物供給と整備事業を

含めた挨拶があった。検診には、全国漁港漁場協会の田中潤久会長が

## 第15回通常総会を米子市で開催

### 特定第三種漁港市長協議会

特定第三種漁港を有する13市の市長で構成する特定第三種漁港市長協議会（会長・鈴木昇久沼田市長）は、岡自水産庁防災漁村課水産施設災害対策室長、谷口真澄鳥取県農土整備部長のほか青森、静岡、鳥取県から3名の来賓を迎え、10月27日午後3時から米子市の「ホテルサンルート米子」において、第15回通常総会を開催。3市長及び9市の市長代表者、市関係者等が出席した。

迎挨拶をした後、沼田農副大臣が「水産物のブランド化について考え」と題して講演を行った。講演終了後、鈴木会長が議長となって議事に入り、平成20年度事業報告及び収支決算、平成21年度事業計画及び収支予算等の議案は事務局提案のとおり承認された。また、次回総会を福岡市で開催することを決定した。役員は野平匡邦米子市長、監事に清水泰雄津市市長に選任された。

総会終了後同ホテルで情報交換会が開催され、米村一三環境商工会議所会長、和村耕治沼田水産振興会会長等も駆けつけ、和やかな雰囲気にも活発な情報交換が行われた。

翌日は、境港市、鳥取県内では、ベニワウカニ等の水揚げが賑わう魚市場や水産物店売センター、海とらしの史料館などを視察し、全行事を終了した。

## 平成21年度磯焼け対策全国協議会開く

水産庁漁港漁場整備部は、11月5日午後6時と6日午前10時、都内港区の三田共用会議所講堂において平成21年度磯焼け対策全国協議会を開催し、参加から多数の関係者が参加した。

冒頭、水産庁の橋本牧魚頭、水産庁の橋本牧魚頭、水産庁の橋本牧魚頭が「この関係者の取組みにより、磯焼け対策の重要性が広く認識されるようになり感謝する。水産

部整備課の森健一課長補佐では、本年度から漁場・干潟の回復等を目的とした環境・生態系保全活動に対する支援策等も講じており、各地の磯焼け対策の成功事例が全国に広がることを期待している。今回の協議会での議論も参考にし、今後の対策の方向性を検討していきたい。」と挨拶した。

会議は、漁港漁場整備部整備課の森健一課長補佐が挨拶し、磯焼け対策の重要性が広く認識されるようになり感謝する。水産部整備課の森健一課長補佐が挨拶し、磯焼け対策の重要性が広く認識されるようになり感謝する。水産部整備課の森健一課長補佐が挨拶し、磯焼け対策の重要性が広く認識されるようになり感謝する。

佐の司会により進められ1日目は、北海道、青森、宮城、和歌山、高知、大分、島根、長崎及び鹿児島各県の地域における取組事例が紹介され、各地で磯焼け対策マニュアルに基づき、ウニや小型巻貝の駆除、母藻の投入や流藻の活用による海藻の補付け、駆除した区域へのウニの導入防止策を講じることに

より、各地で海藻が復活していることが報告された。2日目は、残存藻場アンケートの集計結果の報告、降の「磯焼け緊急対策」大規模磯焼け対策としての取組みを踏まえた磯焼け対策の現状と課題についての講演、また、話題提供として人工湧昇流による磯焼け対策、植食動物であるガンガゼの有効利用についての報告が行われた。締めくくりとして藤田大介東京海洋大学准教授が、「藻場回復・磯焼け解消に向け、磯焼けは食害型のみならず」と題して講演し、温暖化の影響の観察や人材育成も重要であると強調した。

最後に高野吉吉漁港漁場整備部計画課長の閉会挨拶で、会議を終了した。

この度、全国漁港漁場協会の総務部長が交代しました。渡邊英毅部長が退職し、後任に佐治信雄が就任しました。



佐治信雄 総務部長

このたびは総務部長に就任致しました佐治信雄と申します。作家の井上靖の著書に、「あした来る人」という小説があります。実は、佐治信雄は、この小説の主人公である渡部正雄先生の「水産資源論」を、当時文芸春秋の大学生だった私はサブエディで受講して、これが水産につながったの思い出が、今でも私の心に生きています。佐治信雄は、これまで勤務していた会社を9月末で退職し、10月1日付で就任しました。

今後、皆様方のご薫陶を頂きながら、協会の業務に誠意をこめて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

佐治信雄 総務部長

## 全国漁港漁場協会の総務部長が交代

この度、全国漁港漁場協会の総務部長が交代しました。渡邊英毅部長が退職し、後任に佐治信雄が就任しました。

渡邊英毅 前総務部長

高野吉吉の仲間入りをしたのを機に、11年間お世話になりました全国漁港漁場協会を退職いたしました。私にとっては全く未知の世界でしたが、まさかこの世界で、いろいろな所懸命仕事をしています。お礼申し上げます。

## 水産庁人事

大臣官房国際部国際経済課国際交渉官（漁港漁場整備部整備課）中泉昌光